

1 評価規準

・以下の規準が「B」に相当します。

編・章	評価規準		
	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
家庭分野のガイダンス	家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。	・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	・自立と共生について考えようとしている。
A 家族・家庭生活 1.自分の成長と家族・家庭生活 2.幼児の生活と家族 3.幼児との関わり 4.家庭生活と地域の関わり 5.持続可能な家庭生活	幼児の発達と生活の特徴や幼児にとっての遊びの意義を理解している。  家族と家族の相互関係を理解し、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。  介護など高齢者との関わり方について理解している。	幼児とのより良い関わり方についての問題を見出して課題を設定し、工夫をうや改善策を考えることができる。  高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	自分も家庭生活や地域を支える一員として、生活をより良くするために積極的に取り組もうとしている。  高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
B 衣食住の生活(食生活) 1.人間にとっての食事 2.食品と栄養素 3.中学生に必要な食事 4.日常食の調理と地域の食文化 5.献立づくり 6.持続可能な食生活	1日に必要な食品の種類と概量を理解し、1日分の献立作成ができる。  調理に関する安全と衛生や、肉・魚・野菜など取り扱い方を理解し、材料に適した加熱調理をすることができる。  地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、健康に良い食習慣をふまえて1日分の献立作成について考えて工夫・表現することができる。  社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。	食生活を工夫し創造しようとしている。  食生活における日本の生活文化を継承するために積極的に学習し、食生活の課題を踏まえて改善しようとしている。
B 衣食住の生活(衣生活) 1.衣服の働きと手入れ 2.衣服の選択と手入れ 3.布を用いた作品で生活を演出 4.持続可能な衣生活	衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解し、材料に応じた日常着の手入れができる。  製作に適した縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫できる。  資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考えて製作を工夫・表現することができる。	衣生活における日本の生活文化に関心を持ち、継承しようとしている。  製作品を活用することを通して、資源や環境のために改善に向けて取り組もうとしている。
B 衣食住の生活(住生活) 1.人間にとっての住まい 2.生活に必要な住空間<キャリア> 3.自然とともにある住生活 4.安全で健康的な住生活 5.持続可能な住生活	家族の生活と住空間との関わりがわかり、住居の基本的な機能や家庭内事故の予防など住まいの安全対策について理解できている。	家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫できる。  社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	商品の選択と金銭管理について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、住生活を工夫しようとしている。  住まいに関わる危険と対策の仕方を理解している。 記号を用いた作図や、空間デザインのポイントを踏まえた空間設計に取り組むことができる。
C消費生活 1.家庭生活と消費 2.購入・支払いと生活情報 3.消費者被害と消費者の自立 4.持続可能な社会	購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性について理解している。  売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。  消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができる。  身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫することができる。	身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとしている。  計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造しようとしている。

2 評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査(期末)・授業(実習・作業)の取り組み・提出物・作品

②観点別評価と各評価との関係

・観点別評価で各資料がどのくらいのウェイトを占めるかを示しています。

◎…とても重視する

○…重視する

	重みづけ	期末考査	提出物・作品の内容	小テスト	授業の取り組み
知識及び技能	100%	◎	◎	◎	◎
思考力・判断力・表現力	100%	◎	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	100%		◎		◎